

2012年5月30日

小川敏夫 法務大臣 殿

## 取調べの可視化（全過程の録音・録画）の法制化を求める要請書

私たち、取調べの可視化を求める市民団体連絡会は、取調べの可視化（全過程の録音・録画）の法制化を一刻も早く実現するよう、日本政府に要請します。

取調べの可視化については、現在、法制審議会の「新時代の刑事司法制度特別部会」において、重要な課題として議論が進められていると承知しています。法務省、国家公安委員会のいずれも、取調べの録音・録画の拡大という点においては概ね一致していますが、全過程の録音・録画についてはいまだに消極的意見が聞かれます。

取調べの録音・録画の導入を求める声が日本社会で高まった背景には、数々のえん罪事件が明らかになり、その被害者の多くが密室において自白強要をされたこと、その経験から全過程の録音・録画の必要性を訴えていることがあります。取調べの録音・録画の導入の議論にあたっては、えん罪の悲劇を二度と繰り返さないために必要な対策を講じるべきであること、すべての取調べが適正に行われているかを検証するメカニズムを確立する必要があることが、議論の中心に置かれるべきです。

このような点を考えれば、一部の録音・録画は取調べを検証する機能としてはまったく不十分であり、それどころか、さらにえん罪を生み出す危険も指摘されています。

私たちは、取調べの全過程の録音・録画の実現に向けて、できるかぎり早期に法制化の準備を行うよう日本政府に要請します。

また、取調べの全過程の録音・録画の法整備に加え、代用監獄制度の廃止、証拠の全面開示など、国連人権諸機関からも繰り返し勧告されている刑事司法制度の改善についても、早期に着手するよう要請いたします。

### 取調べの可視化を求める市民団体連絡会

**【呼びかけ団体】** アムネスティ・インターナショナル日本／監獄人権センター／日本国民救援会／ヒューマンライツ・ナウ

**【構成団体】** 国際人権活動日本委員会／志布志の住民の人権を考える会／社団法人自由人権協会／人権と報道・連絡会／菅家さんを支える会・栃木／富山（氷見）冤罪国賠を支える会／フォーラム平和・人権・環境／名張毒ぶどう酒事件全国ネットワーク／袴田巖さんの再審を求める会／袴田巖さんを救援する清水・静岡市民の会／布川事件・桜井さん、杉山さんを守る会／無実のゴビンダさんを支える会／無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会